

住まいの学習館通信

2010
Vol.04

発行・編集
NPO 法人
住まいの
学習館

COP10 が名古屋で開催！

10月18日より生物多様性条約第10回締結国会議（COP10）が名古屋で開催されます。

生物多様性条約は、「地球に生きる生命の条約」とも呼ばれる条約で、以下の3つの目的があります。

- 1、地球上の多様な生物を生息環境と共に保全すること。
- 2、生物資源を持続可能であるように利用すること。
- 3、遺伝資源の利用から生ずる利益を公正・衡平に配分すること。

現在、アメリカ合衆国は未締結ですが、日本を含む192ヶ国とE.Cがこの条約に入り、世界の生物多様性を保全するための具体的な取組が検討されています。この条約の目的を確実に実行すべく、進捗度合、成果、新たな課題について話し合う会議がCOPであり、COP10でもさまざまな問題が議論される予定です。



では、「生物多様性」とは何でしょう。それは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、さらに、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念です。

言葉も概念も難解な生物多様性。しかし、生物多様性はどこか遠くに存在して、私たちの生活と無関係なわけではありません。私たち人間は、地球に暮らす多様な生物の一員として、ありとあらゆる分野で豊かな自然の恵みを受けています。住んでいる国や地域にかかわらず、衣服や食料、住居、医療、文化・芸術や教育、生活環境や防災、経済産業の分野に至るまで、すべての人間の生活は生物多様性の恵みの上に成り立っています。

国連環境計画では、世界中の自然保護地域を保全する費用が年間450億ドルであるのに対し、その自然から得られる経済価値は年間5兆ドルと試算し、自然を守った方が得であると報告しています。

地球に生命が誕生してから約40億年。この間、海、川、森、大地のあらゆる場所で、実に多種多様な生命の営みが生まれ、進化と絶滅を繰り返してきました。そして、この地球には科学的に明らか

かにされている生物種が約175万種、未知のものも含めると3千万種もの生物が暮らしていると言われています。

ところが今、この生物多様性が重大な危機にさらされています。それは主に、資源の過剰利用、土地改変、外来生物の持ち込み、気候変動、環境汚染など、私たち人間の活動が引き起こしてしまつたもので、私たちの身近なところでその悪影響が出始めています。例えば、沖縄県ではハブを駆除するために外国から持ち込まれたマングースが、ヤンバルクイナなど固有種を減少させ、滋賀県ではブラックバスが琵琶湖の生態系を壊しています。地球温暖化は高山植物やサンゴ礁などの希少種の生息域を狭め、絶滅危惧種を増やしています。自然界ではすべての生物がつながり、大きな循環のなかで生きています。生態系は何かひとつが少し変化しただけで、全体のバランスが大きく崩れ、さまざまなところへ影響を及ぼしてしまつのです。

COP10は、私たち人間を含む地球上の全ての生物の未来に係る重要な会議です。新聞やテレビなどでも生物多様性について取り上げることが増えるでしょう。ぜひこの機会に、生き物と人間、そして私たちの暮らしとのつながりについて考えてみませんか。

シャワーの汚れはどうですか？

最近では、ほとんどの家庭の浴室にはシャワーがついています。そのシャワーの機能もさまざまで、ノズルの穴を細かくしたり、手元に止水ボタンがついたりした節水タイプのものから、水流に変化をつけたマッサージ機能付きや水質を良くする機能を付加したものなど、給水装置以上の役割を与えられているといっても過言ではありません。しかし、水量が十分でないシャワーでは、もどかしくすっきりしないだけでなく、せつかくの機能も台無しです。心身ともに疲れをとってリラックスできる入浴時間のためにも、気持ちよくシャワーを使えるようお手入れしましょう。

シャワーヘッドの水アカを落とす

シャワーヘッドに白いカスがついてきたら掃除のサインです。洗剤につけて置いて掃除するのもよいですが、ここでは環境にもやさしい方法を説明しましょう。シャワーヘッドに付着する白いカスは、水中に含まれるカルシウムなどが白く結晶化したものです。アルカリ性ですので、酸性のお酢で中和して落します。お酢は、調味酢ではなく食酢の表示のあるものを使用してください。

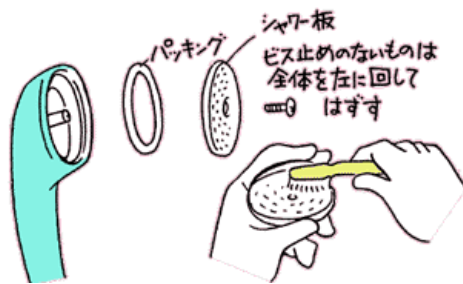
- お酢1カップに水6カップを加えて、シャワーヘッドにつけます。
- 一〜二時間、できれば一晩置いて、水アカの結晶を緩めます。

仕上げに、水で湿らせたスポンジに重曹をつけて磨きます。

最後に、シャワーを出して、シャワーヘッドの中の汚れを洗いだします。

シャワーヘッドの目詰まりを直す

左図のようにネジがあるものは、ネジをゆるめて散水板を取り外します。ネジがないものは、散水板そのものを回して外します。網目につまったゴミや水アカを歯ブラシでこすって落とします。取りきれない水アカは、シャワーヘッドの穴をまち針などでつついて取り除きます。



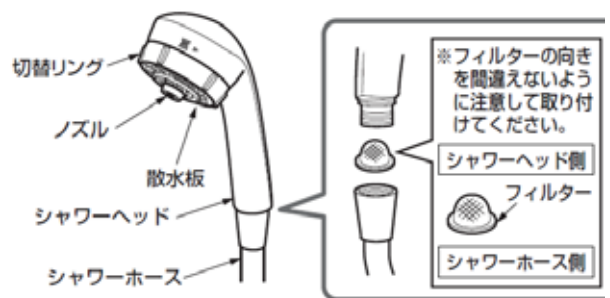
ヘッドとホースのつなぎ目を掃除する

下の図のようにシャワーヘッドとホースのつなぎ目にもフィルターがある場合があります。見えないところですが、案外汚れが付着しています。シャワーヘッドの掃除と一緒にお手入れすることを勧めします。

他にも、混合栓のフィルターがゴミやサビで目

詰まりしていると、湯温が不安定になる、水量が落ちるなどの不具合の原因になります。

シャワーヘッドやシャワーホースは、自分でも比較的簡単に交換できます。詳しいお手入れ方法は、学習館ホームページ「通信講座 6」をご覧ください。



学習館のホームページでは、住まいのお手入れ方法について自宅で学べる通信講座を開設し、随時更新中です。ぜひ「住まいの学習館」で検索してみてください。

10月、11月の通信講座メニュー

- ・講座 17「壁のクロスが黄ばんだり、めくれていませんか？」
- ・講座 18「じゅうたんが磨り減っていませんか？」

(編集・NPO法人住まいの学習館事務局、045) 453 0541)